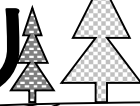




南浦和中だより



第 9 号

平成 31 年 1 月 8 日(火)

さいたま市立南浦和中学校

さいたま市南区辻 6-1-33

Tel 048-863-0753

さわやか相談室 直通

Tel 048-837-5909

《学校教育目標》日に新た 心豊かに たくましく



「もう一步」

校長 益子 慶次

新たな 1 年が始まりました。昨年も、保護者や地域の皆様から本校への温かい御支援と御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年も 2 日・3 日に行われました「東京箱根往復大学駅伝」では、青山学院大学の総合 5 連覇を阻止し見事なチーム力で東海大学が総合優勝を果たしました。初優勝に向けて、過去を振り返りつつ、あと一步努力する練習を積み重ねてきた成果ではないでしょうか。その人生を左右する「もう一步」、今までに経験はないでしょうか。少し前の話なのですが、紹介したいと思います。

新聞記者を経て大手商社に入社し、アメリカの大学院に留学していた男性がいました。エリートビジネスマンへの出世コースでしたが、世の中はそううまくいきません。彼は英語がうまくしゃべれないため大学院の授業についていくことができず、ストレスから体調を崩してしまいました。そして、このままの状態が続けば大学院は退学させられ、会社もやめるしかない状況に追い込まれてしまいました。そんなぎりぎりの中で彼は「もう一日だけ頑張ってみよう。それでダメなら日本へ帰ろう」と決意しました。

この「もう一日だけ」を何日か続けているうちに、少しずつ勉強のリズムも体に刻まれるようになり、成績も徐々に伸びてきて、最終的には優等生として卒業することができました。そして、後に日本を代表する社長にまでなったということです。

辛い場面や苦しい状況に追い込まれたとき、簡単にあきらめるのではなく、「もう一日」「もう一回」と本気の決意をすることで、危機から打開できることがあるのだと思います。そこで、年の初めということで、何ができるだろうと考えてみました。



「もう一分早く起きるようにしよう。(早起きは三文の徳と言われるように、成功する人は早起きの人が多いそうです)」、「一日一回『ありがとう』という言葉を書いてみよう。(この美しい言葉を少しでも多く言えるようにしたいものです)」、「一日一回、笑顔を多くしてみよう。(笑顔は自分も相手も気持ちがいいものです)」、「一日一回、人に対して親切を多くしてみよう。(見返りを考えず素直にできるようになりたいものです)」、「欲しいものがあったら、もう一度我慢してみよう。(我慢の大切さをわからなければ立派な大人にはなれないのです)」、「買いたいものがあったら、もう一日だけ我慢してみよう。(衝動買いは無駄のもとなのです)」、「人に道を譲る回数を、もう一回多くしてみよう。(心にゆとりが生まれます)」、「もう一度じっくり考えてみよう。(きっと良い考えが浮かんでくるはずです)」、「一か月に一冊多く本を読んでみよう。(1 年では 12 冊も多く読んだことになるのです)」、「お辞儀をする角度をもう一度低くしてみよう。(実るほど頭を垂れる稲穂かな!)」、「一日一分でも歩く時間を増やしてみよう。(体の衰えは足からくるのです)」、「未来のために、一つでもいいから毎日考えよう。(未来のために考えた時間だけ、考えた回数だけ、実行した中身だけ未来が豊かになるはずです)」、「味方を一人でも多くつくるよう努力してみよう。(味方は将来のいつの日か力を差しのべてくれますが、敵をつくるといざというときに足を引っ張られてしまいます)」。

何事もやめてしまうのは簡単です。強い意志をもたなければ続けていくことや、さらに成長することは難しいものです。無理に背伸びせずに、まず自分ができる小さな「もう一日」「もう一回」から取り組んでいこうではありませんか。

3 学期は短い期間とはなりますが、今年度のまとめとして、教職員が一丸となって日々の教育活動を見直し、改善を図り、次年度につなげてまいります。地域・保護者の皆様には、今年も引き続き、見守っていただきますようお願い申し上げます。